2026年11月24日

報道関係各位

株式会社JPF

《「する・支える」の2つの視点から競輪を学ぶ》

～総合探究学習の一環として、ワットバイクの体験と競輪開催を支える仕事に触れる～

松阪市より松阪競輪場の包括運営業務を受託している株式会社JPF（本社：東京都千代田区、代表取締役：渡辺俊太郎）は、2026年11月6日（金）、松阪市内の中学2年生27名を迎え、第3回総合探究学習「嬉野学」の一環として、競輪を「する」「支える」の2つの視点から学ぶ授業を実施しました。



前回、7月10日（金）の施設見学では、競輪を「みる」ことをテーマに学びました。生徒たちは、選手がレースで使用するバンクを歩き、コーナーの傾斜を自分の足で確かめました。また、競輪選手がバンクを駆け抜ける姿を間近で見学し、そのスピードを肌で感じました。

第3回となる今回は、前回の「みる」に続き、「する」「支える」の2つの視点から競輪について学びました。前半は2つのグループに分かれ、「する」体験に取り組んだグループは、松阪サイクルトレーニングセンターで元選手のアドバイスを受けながらワットバイクに挑戦しました。「支える」仕事を学ぶグループは、選手が使う自転車の点検やレース運営に携わる人たちの役割について話を聞きました。また、生徒たちが事前に作成したチラシを広報担当者に見てもらい、伝えたい内容を読み手に分かりやすく届けるためのアドバイスを受けました。
後半は全員がバンク内に集まり、様々な自転車を乗り比べた後、チーム対抗リレーを行いました。

JPF Jump for Positive Future

2021 Copyright © JPF Co., Ltd. All Rights Reserved.

【する ― ワットバイクで出力の変化を体感】
生徒たちは、まず事前に研究してきたこぎ方でワットバイクの測定に臨み、自分の出力を確認しました。その後、元選手のアドバイスを取り入れて再挑戦すると、1回目を上回る出力を記録した生徒もいました。今回の体験は、現在自転車競技に取り組んでいない生徒にとっても、これまで自分では気づいていなかった能力や可能性を発見し、将来的に選手として活躍する可能性にも目を向けるきっかけとなりました。

【支える ― レース運営と広報を通じて、競輪を支える仕事の魅力に触れる】
選手が競輪場に到着してから出走するまでの流れに沿って、競輪開催を支えるスタッフの仕事を紹介しました。生徒たちは、競技用自転車を点検する「検車」や、選手の受付、健康状態の確認、出走前の招集を担う「選手管理」について話を聞きました。

また、イベントや広報の仕事について学ぶ場面では、生徒たちが自分たちで作成したチラシを広報担当者に見てもらい、伝えたい内容を読み手に分かりやすく届けるためのアドバイスを受けました。自分たちのチラシを題材に、催しの魅力をどう伝えれば、地域の方に「行ってみたい」と思ってもらえるかを考えました。情報の伝え方を工夫し、地域の方が競輪場を訪れるきっかけをつくるという、広報の仕事ならではの魅力に触れる機会となりました。




【様々な自転車を乗り比べ、スポーツとしての自転車に触れる】
グループ別の活動を終えた後は、全員がバンク内に集まり、競輪選手がレースで使用するピストバイクに加え、ロードバイクやマウンテンバイク（MTB）、BMXを乗り比べました。生徒たちは、事前学習で学んだタイヤの太さやハンドルの形に着目しながら実際にペダルをこぎ、競技や走る場所に合わせてつくられた自転車の違いを、乗車姿勢や操作性から体感しました。

最後は、1台の自転車を仲間と乗り継ぐチーム対抗リレーに挑戦しました。参加した生徒からは「また乗ってみたい」「もっと上手に走りたい」といった声も聞かれました。




JPF
Jump for Positive Future
2021 Copyright © JPF Co., Ltd. All Rights Reserved.

生徒たちにとって、松阪競輪場での体験を通じて得た学びが、競輪選手をはじめ、競輪場を支えるさまざまな仕事やスポーツへの関心を広げるきっかけとなり、地元にある施設や仕事をより身近に感じるとともに、自らの将来を考える第一歩となればと考えています。

株式会社JPFでは、競輪場を地域に開かれた場所として活用する取り組みを進めています。今後も、自転車競技やスポーツの振興に加え、地域の子どもたちがスポーツや仕事に触れ、自らの将来について考えるきっかけとなる学びの機会を創出していきます。

【協力】

・松阪けいりん

【株式会社JPFについて】

1950年、競輪やボートレースなどの公営競技におけるゴール着順判定用スリットカメラを発明。以来、多くの公営競技場において判定業務を支えてきました。2010年からは公営競技場のトータルマネジメント事業を開始し、全国各地で運営支援を展開しています。「人の成長機会を提供できる企業であり続けること」を理念に、地域活性化やサイクルスポーツ振興など、多様な取り組みを推進しています。

【メディアキット】

キット内の素材は本プレスリリースを掲載していただく場合のみ使用可能です。

https://drive.google.com/drive/folders/18mTElcqe1dfb_igutizL0eUVKlEnUccj?usp=sharing

---

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社JPF
松阪事業所　イベント担当
TEL：0598-23-6111

Jump for Positive Future

2021 Copyright © JPF Co., Ltd. All Rights Reserved.